

感染対策チーム活動と地域連携

看護部長 中谷 喜美子

医療の質を担保し、安全な医療環境を提供する上で、感染対策は職員全員が取り組むべき重要な課題です。平成24年度の診療報酬改定で「充実が求められる分野」として感染症対策の推進が挙げられました。今まで医療安全加算の中に組み込まれていた感染防止対策加算が独立して新しい加算項目として設定され、感染防止対策加算1、2と感染防止対策地域連携加算が新設されました。

当院は今年度の2月に感染防止対策加算1の届出を行ったことは周知のことと思います。その施設基準で求められる役割を果たすために、感染対策室の木野田室長のリーダーシップの下、感染対策チームを組織し、定期的なラウンドの実施とともに、感染防止対策の推進、教育に日々努めており、着実に成果が得られています。

特に今年度の目標を「手指衛生」とし全職員が参加できる研修「手洗いダンス」を企画、実践した成果を第18回日本医療マネジメント学会学術集会で白庭病院として発表することができたことは光栄でした。全員が楽しく、感染対策に積極的に取り組んだことが、チーム医療の充実に繋がったと思います。

今、感染症は個人から施設を超え、地域全体に広がる可能性があります。結核・感染性胃腸炎・インフルエンザ発生をはじめとして、今年度は、麻疹など日々感染症は発生しています。今後は、地域連携を密にし、ネットワークの構築とともに、情報共有に努め、地域において当院に課せられた機能が発揮できるように職員全員で取り組ましましょう！

今年度の各所属目標

平成28年度感染対策のテーマ


『手指衛生』



各部署で掲げた目標を再確認し、目標達成を目指しましょう。



外来



遵守率の向上

5階

5つの手洗いのタイミング100%を目指す
～ 目標1か月のラビジェLの使用量6000 ～

4階

5つのタイミングを実施します。
手荒れしないように自己の手のケアも怠りません

3階

5つのタイミングの実施
医師にも働きかけスタッフ同士で声を掛け合い清潔意識を高めよう

放射線科

ポータブル撮影前後の手指消毒の徹底
各撮影ごとの手指消毒の徹底

薬剤部

服薬指導時の手指消毒の強化
業務開始時の手洗いの徹底

医局

診療時における手洗いではさらなる徹底を心がけ正しい手洗い方法を実践する

手術室

手洗い5つのタイミングの徹底
消毒剤の適正使用の管理

事務部

業務開始時・終了時の手洗い・ラビジェLによる手指衛生の徹底

臨床工学室

1日一度以上の精密な手洗い
(手洗い手指消毒)

検査室

患者に触れる前・後の手指消毒の徹底

栄養課

1分以上の手指消毒の習慣の徹底

リハビリ科

リハビリ室内ラビジェL
月平均900mlの使用
昨年度平均707mlの使用。今年度は、新入職増員分と昨年度より上乗せし900mlと設定

【感染防止研修】

- ◆ 第14回 尿路感染対策
2016年9月22日(金)15時～
- ◆ 第15回 標準予防策・当院の感染対策の体制
2016年9月22日(金)16時～(中途採用者対象)
- ◆ 第16回 感染性胃腸炎対策(おむつ交換の実際も含む)
2016年9月27日(火)15時30分～

【今後の感染防止研修会予定】

- ◆ 血流感染対策(マキシマルバリアアプリケーション含む)
- ◆ インフルエンザ感染対策 など
- ◆ 感染防止地域連携カンファレンス
- ◆ 2016年9月13日(火)14時～
加算2施設(東生駒病院・高の原中央病院)と第3回目
合同カンファレンス開催
- ◆ 10月14日(金)に加算1施設(奈良県総合医療センター)と相互評価開催

【セミナーのお知らせ】

- ◆ 第13回「奈良インフェクションコントロールセミナー」
日時：2016年10月8日(土)15時30分～
場所：奈良ホテル「大和の間」

【検査室の取り組み】

- 検査室は、感染症や微生物情報の発信源です。
(主な内容として)
- ① 耐性菌の情報伝達
 - ② 院内感染上重要な菌の報告
 - ③ 院内耐性菌を含む菌の検出状況の把握(集計・報告)などを行っています。

これからも院内で発生する様々な感染症に対して迅速に報告を行い患者様や職員を感染症から守ることを目的として活動して行きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

検査室 竹田幸史